



加地薬局かわら版

2012年8月



虫さされ・虫よけの薬について知ろう！

夏真っ盛りです。気温も高く、肌の露出も増えて虫にさされる機会も多いのではないのでしょうか？
虫さされの一般的な症状はアレルギー反応による、かゆみ、痛み、腫れ、赤みなどです。

虫さされ用の OTC 医薬品（一般用医薬品）

剤形・・・液剤、クリーム、ジェル、軟膏、パッチがあります。
清涼感のある液剤は人気です。
小児など患部をかきこわしやすい方には、パッチタイプがいいでしょう。



成分	効能
ステロイド (デキサメタゾン酢酸エステルなど)	抗炎症作用、血管収縮作用、抗アレルギー作用で患部の炎症を抑えます。
抗ヒスタミン成分 (ジフェンヒドラミン)	かゆみを抑えます。
鎮痒成分 (クロタミトン)	皮膚に軽い熱感を与え、かゆみを抑えます。
局所麻酔成分 (リドカイン、アミノ安息香酸エチルなど)	知覚神経に働き、かゆみの伝達を抑えます。
殺菌成分 (イソプロピルメチルフェノールなど)	殺菌作用と、かきこわしによる2次感染の予防。
抗炎症成分 (グリチルリチン酸二カリウムなど)	炎症を抑えます。
清涼成分 (dℓ-カンフル、ℓ-メントール)	清涼感による刺激で、かゆみを抑えます。
ビタミン類 (トコフェロール酢酸エステル)	毛細血管の血行を良くし、傷口の治癒を促します。

ステロイドの入った製品は赤みやかゆみの強い場合におすすめします。
ただし、水痘、水虫、たむし、化膿している所には使わないで下さい。
5～6日間使用しても改善しない時は皮膚科を受診しましょう。



虫にさされる前の対策も忘れずに！

虫よけ成分、ディート・レモンユーカリオイルは吸血害虫が忌避します。
スプレー、ブレスレット、シールなどがあります。
※6カ月未満の乳児にはディートは使えません。



加地薬局のホームページが新しくなりました → → → <http://www.kaji-ph.com/>
QRコード対応携帯の方は右のQRコードを読み取るだけでURLが表示されます。
携帯版 URL <http://www.kaji-ph.com/k/>

